

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年5月8日

上場会社名 株式会社サン・ライフホールディング 上場取引所 東
 コード番号 7040 URL https:sunlife-hd.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 比企 武
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務支援本部長 (氏名) 黒崎 寿雄 (TEL) 0463-22-1233
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月10日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	14,149	2.1	1,102	△15.5	1,272	△9.8	619	△25.8
2025年3月期	13,856	2.6	1,305	5.9	1,410	5.2	835	△25.1
(注) 包括利益	2026年3月期		505百万円(△36.9%)		2025年3月期		800百万円(△29.4%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	101.21	—	9.2	3.5	7.8
2025年3月期	136.44	—	13.3	3.9	9.4

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	35,977	6,907	19.2	1,127.88
2025年3月期	36,157	6,604	18.3	1,078.34

(参考) 自己資本 2026年3月期 6,906百万円 2025年3月期 6,602百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	1,207	△7,647	△204	3,773
2025年3月期	1,362	△1,068	△198	10,413

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	16.00	—	17.00	33.00	202	24.2	3.2
2026年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00	208	33.6	3.1
2027年3月期(予想)	—	17.00	—	18.00	35.00		27.1	

(注) 2026年3月期における1株当たり期末配当金については、17円から18円に変更しております。詳細については、本日(2026年5月8日)公表いたしました「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

2027年3月期(予想)第2四半期末配当予想には、上場30周年記念配当1円が含まれております。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,900	1.6	360	△29.8	440	△25.3	250	△21.5	40.82
通期	14,600	3.2	1,140	3.4	1,320	3.8	790	27.5	129.01

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2026年3月期	6,820,000株	2025年3月期	6,820,000株
2026年3月期	696,845株	2025年3月期	696,845株
2026年3月期	6,123,155株	2025年3月期	6,123,155株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善と個人消費の緩やかな回復が見込まれる一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、米国・イラン情勢の緊迫化による国際的なエネルギー資源不足と原材料価格の上昇、併せて米国通商政策等の影響もあり、国内景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。このような中、当社は「Sustain100～持続可能な明日へ～」をスローガンに掲げ、従業員への周知とお客様へ向けて積極的な活動に取り組んでまいりました。

このような状況下、当社グループにおける各事業の取り組みと業績内容は以下の通りであります。

ホテル事業では、積極的なご婚礼、ご宴会・レストラン需要の拡充、顧客ニーズに合わせたEC事業の推進を行い、売上高は前期比15.0%増の1,120百万円、営業利益は物価高騰等の影響があったものの、業務の内製化等により原価率の低減に努め回復傾向となり12百万円（前期は13百万円の営業損失）となりました。

式典事業では、業界再編による競合環境の激化や儀式儀礼文化における小規模化の流れの中、お客様からご用命いただけるよう企業基盤を強化していくことが求められております。そのような環境下、ご葬儀、仏壇仏具、法事法要、埋葬や相続、生活サポートなど終活全般におけるお客様との関係作りを推進するため、終活総合支援事業「ライフフリー」を開設し、集客型イベントの開催、ご相談体制の強化に努めてまいりました。また、2025年6月には昨今の家族葬ニーズに対応した施設展開として「サン・ライフ 秦野ファミリーホール」（神奈川県秦野市）、2025年7月に「サン・ライフ ファミリーホール海老名」（神奈川県海老名市）、2025年8月に「サン・ライフ 藤沢聖苑前ファミリーホール」（神奈川県藤沢市）、2025年12月に「サン・ライフ 大和桜ヶ丘駅前ファミリーホール」（神奈川県大和市）、2026年2月に「八王子元横山ファミリーホール」（東京都八王子市）、を開設いたしました。これらと併せて既存斎場の快適性、安全性の向上のため、リニューアルや修繕計画を推進し、ご利用者様の利便性を高めてまいりました。しかしながら主要エリアにおける死亡数の減少に伴い、ご葬儀件数は減少、一方で自然葬、家財整理、相続不動産関連事業が増加したことにより、売上高は前期比0.1%増の10,212百万円、営業利益は新規斎場費用等の増加により前期比5.8%減の2,128百万円となりました。

介護事業では、サービス利用者の増加とサービス品質向上に努め、施設の入居率、サービスご利用件数が増加いたしました。また、2025年12月に事業譲渡によりデイサービス事業所「エミーズ湘南ひらつか」を開設し、売上高は前期比5.2%増の2,276百万円、営業利益は処遇改善と採用費等による人件費が上昇したことにより、前期比24.8%減の85百万円となりました。

その他の事業では、ハウスクリーニング事業において清掃、家財整理の需要が増加し、売上高は前期比4.0%増の540百万円、一方で、不動産取得費用、施設修繕費の増加により営業損失は27百万円（前期は31百万円の営業損失）となりました。

以上の結果、主要事業においてホテル事業では施設・サービスの魅力を顧客ニーズ合わせた情報発信を行い、ご婚礼の施行組数が増加、また、介護事業では介護施設の入居率とサービスご利用件数が増加、その他事業では清掃、家財整理等の需要が増加いたしました。一方で式典事業では主要エリア内死亡人口の減少によりご葬儀の施行件数が減少いたしました。それらの結果、売上高は前期比2.1%増の14,149百万円、営業利益は処遇改善に伴う人件費、新規斎場出店費用の増加等により前期比15.5%減の1,102百万円、経常利益は前期比9.8%減の1,272百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は法人税等調整額の増加により前期比25.8%減の619百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産は、前連結会計年度末に比べ180百万円減少し、35,977百万円となりました。これは、現金及び預金の減少等による流動資産の減少1,021百万円、設備投資等による有形固定資産の増加201百万円、のれんの減少等による無形固定資産の減少68百万円、投資有価証券の増加等による投資その他の資産の増加708百万円があったことによるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ483百万円減少し、29,069百万円となりました。これは買掛金、未払金等の減少による流動負債の減少92百万円、前払式特定取引前受金の減少等による固定負債の減少391百万円があったことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ303百万円増加し、6,907百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益619百万円の計上及び配当金の支払202百万円等により利益剰余金が417百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金の減少114百万円があったこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は前連結会計年度末に比べ6,639百万円減少し、3,773百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得られた資金は1,207百万円となりました。主な収入要因として、税金等調整前当期純利益1,085百万円、減価償却費543百万円、のれん償却費158百万円があった一方、主な支出要因として、前払式特定取引前受金の減少409百万円、法人税等の支払額200百万円等があったことが主たる要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果支出した資金は7,647百万円となりました。これは、定期預金の預入による支出8,750百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出1,015百万円、国債購入による有価証券及び投資有価証券の取得による支出1,299百万円、定期預金の払戻による収入3,400百万円があったことが主たる要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果支出した資金は204百万円となりました。これは、配当金の支払額204百万円があったことが主たる要因であります。

(4) 今後の見通し

今後の我が国の経済見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善と個人消費の緩やかな回復が見込まれる一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、米国・イラン情勢の緊迫化による国際的なエネルギー資源不足と原材料価格の上昇、併せて米国通商政策等の影響もあり、国内景気の先行きは依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループ事業を取り巻く環境は、総人口の減少、少子高齢化、核家族化を背景に顧客の価値観とライフスタイル・ニーズが多様化する中、今後も更なる市場競争の激化が予想されます。

このような中、当社は「Sustain100～持続可能な明日へ～」をスローガンに掲げ、機動的かつ柔軟な経営判断を行い、顧客ニーズを的確に捉え、安全を確保しながら更なる顧客満足度の向上、新たな市場・顧客開拓を行い、企業価値の向上を目指してまいります。同時にコスト競争力の強化、危機管理体制の整備、コンプライアンス遵守といった取り組みを継続し、さらに、システム刷新による業務効率化の向上、人管理体制の強化、福利厚生制度の充実による従業員満足度の向上を進め、経営基盤の強化を推進してまいります。

各事業別の戦略の方向性は以下の通りであります。

ホテル事業

- ・ サービス品質（スタッフ教育研修、施設の魅力、ご婚礼サービス）向上とSNSツールによる情報発信の強化
- ・ 社会や流行に基づくニーズに応じたお客様満足度向上（オリジナルアイテム、プランの創出等）
- ・ 新規事業への参画、EC部門の新商品開発（オリジナル商材等）、販売の強化
- ・ ザ・ウィングス海老名の活性化、経営の黒字化

式典事業

- ・ テレビCM、WEB広報体制の強化、新規涉外開拓によるご用命件数の増加および顧客コミュニティの構築
- ・ ご葬儀ブランド別の組織、アフターフォロー体制の確立、終活総合支援事業（ライフリリーフ事業）の拡充
- ・ 多様化する宗教ニーズへ対応した新商品・施行サービス開発および販売の強化
- ・ 戦略的な新規斎場の出店および施設修繕・改修の実施
- ・ 採用、育成制度（新卒人材、ご葬儀施行、運行スタッフ研修）の再整備・強化
- ・ 霊園事業（60周年事業、多様化ニーズに合わせた商品「円想」開発販売）と既存事業とのシナジー強化

介護事業

- ・ 看護師、ヘルパーの確保、サービス提供体制の強化、人員供給体制基盤の構築（海外人材、新卒採用強化等）
- ・ グループシナジー、施設の魅力を活かした入居営業強化と稼働率向上の推進
- ・ 収益性の向上（特定事業所加算取得等による単価アップ、経費削減他）
- ・ シニアビジネス業容拡充に向けたM&Aの推進

その他の事業（互助会事業、少額短期保険業他）

- ・ 無料登録「ライフクラブ」制度導入による事前予約世帯の拡充
- ・ 介護施設紹介所「みつけるコンシェル」の拡充と強化
- ・ 展示会、フェスタなどイベントおよび催事出店を通じた顧客基盤の拡大
- ・ ハウスクリーニングなど消費者ニーズに応じた付帯事業の拡充

次期の連結業績予想につきましては、以上を踏まえ、売上高14,600百万円（前期比3.2%増）、営業利益1,140百万円（前期比3.4%増）、経常利益1,320百万円（前期比3.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は790百万円（前期比27.6%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は現在日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,674,493	9,379,492
売掛金	761,654	780,549
有価証券	317	200,310
商品	37,246	32,808
原材料及び貯蔵品	59,096	62,597
短期貸付金	14,781	13,925
預け金	48,740	53,861
その他	631,170	686,242
貸倒引当金	△3,659	△7,761
流動資産合計	12,223,841	11,202,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,372,083	19,111,361
減価償却累計額	△12,015,950	△12,322,211
建物及び構築物(純額)	6,356,132	6,789,149
機械装置及び運搬具	308,145	319,459
減価償却累計額	△275,637	△295,760
機械装置及び運搬具(純額)	32,508	23,698
工具、器具及び備品	2,290,750	2,352,760
減価償却累計額	△2,039,660	△2,087,214
工具、器具及び備品(純額)	251,090	265,546
土地	8,321,586	8,274,886
建設仮勘定	229,756	38,940
有形固定資産合計	15,191,075	15,392,221
無形固定資産		
のれん	679,930	556,132
その他	98,338	154,017
無形固定資産合計	778,268	710,149
投資その他の資産		
投資有価証券	3,800,131	4,722,770
長期貸付金	126,125	121,956
出資金	5,780	5,750
供託金	102,965	103,465
敷金及び保証金	2,669,372	2,629,261
保険積立金	374,767	380,956
繰延税金資産	810,120	637,543
その他	116,396	112,606
貸倒引当金	△41,242	△41,656
投資その他の資産合計	7,964,416	8,672,652
固定資産合計	23,933,760	24,775,023
資産合計	36,157,602	35,977,049

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	622,238	486,107
未払金	359,775	331,061
未払法人税等	92,871	152,752
賞与引当金	234,276	236,200
前受金	355,789	442,831
その他	806,281	729,598
流動負債合計	2,471,232	2,378,551
固定負債		
退職給付に係る負債	171,535	183,728
長期末払金	10,525	10,525
前払式特定取引前受金	25,718,835	25,309,555
前受金復活損失引当金	35,936	34,753
繰延税金負債	873,884	841,271
その他	271,573	311,251
固定負債合計	27,082,291	26,691,085
負債合計	29,553,524	29,069,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	761,914	761,914
利益剰余金	6,395,329	6,813,021
自己株式	△685,697	△685,697
株主資本合計	6,571,546	6,989,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,319	△83,049
その他の包括利益累計額合計	31,319	△83,049
非支配株主持分	1,212	1,224
純資産合計	6,604,078	6,907,412
負債純資産合計	36,157,602	35,977,049

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	13,856,017	14,149,571
売上原価	10,319,960	10,724,944
売上総利益	3,536,056	3,424,626
販売費及び一般管理費	2,230,670	2,321,860
営業利益	1,305,385	1,102,765
営業外収益		
受取利息	17,307	70,760
受取配当金	7,856	8,802
前受金月掛中断収入	20,723	21,095
不動産賃貸料	21,443	22,167
助成金収入	9,618	18,599
預り金取崩益	19,528	18,954
その他	29,090	37,586
営業外収益合計	125,568	197,967
営業外費用		
不動産賃貸費用	5,352	4,712
前受金復活損失引当金繰入額	10,506	21,262
貸倒引当金繰入額	-	2,215
その他	4,672	261
営業外費用合計	20,531	28,451
経常利益	1,410,422	1,272,281
特別利益		
固定資産売却益	639	-
受取保険金	211	-
特別利益合計	851	-
特別損失		
固定資産除売却損	36,574	95,543
減損損失	11,632	86,918
特別功労金	23,266	-
和解金	3,600	4,200
特別損失合計	75,073	186,662
税金等調整前当期純利益	1,336,200	1,085,619
法人税、住民税及び事業税	236,075	263,205
法人税等調整額	264,658	202,646
法人税等合計	500,734	465,851
当期純利益	835,466	619,767
非支配株主に帰属する当期純利益	2	11
親会社株主に帰属する当期純利益	835,463	619,755

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	835,466	619,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,493	△114,369
その他の包括利益合計	△34,493	△114,369
包括利益	800,973	505,398
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	800,970	505,386
非支配株主に係る包括利益	2	11

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	761,914	5,761,929	△685,696	5,938,148
当期変動額					
剰余金の配当			△202,064		△202,064
親会社株主に帰属する当期純利益			835,463		835,463
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	633,399	△0	633,398
当期末残高	100,000	761,914	6,395,329	△685,697	6,571,546

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	65,812	65,812	1,209	6,005,169
当期変動額				
剰余金の配当				△202,064
親会社株主に帰属する当期純利益				835,463
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△34,493	△34,493	2	△34,490
当期変動額合計	△34,493	△34,493	2	598,908
当期末残高	31,319	31,319	1,212	6,604,078

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	761,914	6,395,329	△685,697	6,571,546
当期変動額					
剰余金の配当			△202,064		△202,064
親会社株主に帰属する当期純利益			619,755		619,755
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	417,691	—	417,691
当期末残高	100,000	761,914	6,813,021	△685,697	6,989,238

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	31,319	31,319	1,212	6,604,078
当期変動額				
剰余金の配当				△202,064
親会社株主に帰属する当期純利益				619,755
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△114,369	△114,369	11	△114,357
当期変動額合計	△114,369	△114,369	11	303,334
当期末残高	△83,049	△83,049	1,224	6,907,412

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,336,200	1,085,619
減価償却費	531,518	543,505
減損損失	11,632	86,918
のれん償却額	159,305	158,613
特別功労金	23,266	-
和解金	-	4,200
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,871	12,192
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,105	4,516
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,500	1,923
前受金復活損失引当金の増減額(△は減少)	△10,445	△1,183
受取利息及び受取配当金	△25,164	△79,563
受取保険金	△211	-
有形固定資産除売却損益(△は益)	35,934	95,543
助成金収入	△9,618	△18,599
売上債権の増減額(△は増加)	△12,171	△18,894
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,889	936
仕入債務の増減額(△は減少)	17,064	△136,130
未払金の増減額(△は減少)	26,091	△7,446
前払式特定取引前受金の増減額(△は減少)	△208,898	△409,280
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△192,585	△29,084
その他の流動負債の増減額(△は減少)	74,089	6,636
その他	1,828	38,484
小計	1,772,460	1,338,908
利息及び配当金の受取額	25,917	51,554
保険金の受取額	211	-
和解金の支払額	-	△4,200
特別功労金の支払額	△120,000	-
助成金の受取額	9,618	18,599
法人税等の支払額	△374,748	△200,971
法人税等の還付額	49,399	3,390
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,362,859	1,207,281
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△527,742	△1,015,662
有形及び無形固定資産の売却による収入	818	24,188
投資有価証券の取得による支出	△1,840,306	△1,099,650
有価証券の取得による支出	-	△200,000
供託金の預入による支出	△4,000	△500
供託金の返還による収入	1,600,000	-
定期預金の払戻による収入	-	3,400,000
定期預金の預入による支出	-	△8,750,000
貸付けによる支出	△1,826	△2,030
貸付金の回収による収入	7,697	7,054
保険積立金の積立による支出	△244,494	-
その他	△58,562	△11,285
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,068,416	△7,647,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△198,270	△204,336
自己株式の取得による支出	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△198,271	△204,336
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,491	5,089
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	93,679	△6,639,850
現金及び現金同等物の期首残高	10,319,323	10,413,003
現金及び現金同等物の期末残高	10,413,003	3,773,152

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取扱うサービス別に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、これらを基礎とした事業の種類別かつエリア別セグメントから構成され、経済的特徴の類似性等を勘案し、事業セグメントを集約した「ホテル事業」、「式典事業」、「介護事業」の3つを報告セグメントとしております。

「ホテル事業」では、ご婚礼、ご宴会及びご宿泊のサービス並びにECサイト、フォトスタジオの運営等を行っております。「式典事業」では、ご葬儀、ご法要、エンバーミング（ご遺体衛生保全）のサービス、ペットのご葬儀、霊園の管理及び仏壇店の運営を行っております。「介護事業」では、在宅介護サービス及び介護付き有料老人ホーム、住宅型有料老人ホームの運営を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	974,449	10,198,403	2,163,750	13,336,604	519,412	13,856,017	—	13,856,017
セグメント間の内部 売上高又は振替高	150,963	24,634	31	175,629	33,759	209,388	△209,388	—
計	1,125,413	10,223,037	2,163,781	13,512,233	553,172	14,065,405	△209,388	13,856,017
セグメント利益又は損 失(△)	△13,033	2,260,183	113,553	2,360,704	△31,786	2,328,918	△1,023,532	1,305,385
セグメント資産	893,542	16,088,915	1,682,997	18,665,454	1,739,662	20,405,117	15,752,484	36,157,602
その他の項目(注) 5								
減価償却費	29,942	433,803	27,826	491,573	1,002	492,576	38,941	531,518
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	138,414	373,194	21,396	533,006	2,916	535,922	11,397	547,320
のれんの償却額	—	128,845	29,996	158,841	463	159,305	—	159,305

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、少額短期保険業、清掃業他が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,023,532千円には、セグメント間取引消去52,573千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,076,105千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント資産の調整額15,752,484千円の内容は、セグメント間取引消去△351,399千円、各報告セグメントに配分していない全社資産16,103,884千円であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社固定資産であります。

その他の項目の減価償却費の調整額38,941千円は全社資産に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額11,397千円は、全て全社有形固定資産及び無形固定資産であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

5 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、長期前払費用に係る金額が含まれております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,120,985	10,212,004	2,276,000	13,608,990	540,580	14,149,571	—	14,149,571
セグメント間の内部 売上高又は振替高	161,459	27,689	—	189,149	34,790	223,940	△223,940	—
計	1,282,445	10,239,694	2,276,000	13,798,140	575,371	14,373,511	△223,940	14,149,571
セグメント利益又は損 失(△)	12,469	2,128,978	85,351	2,226,799	△27,343	2,199,455	△1,096,690	1,102,765
セグメント資産	835,736	16,344,152	1,468,849	18,648,738	1,711,536	20,360,275	15,616,773	35,977,049
その他の項目(注) 5								
減価償却費	33,599	445,388	30,053	509,040	1,391	510,432	33,073	543,505
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	148,262	825,237	58,602	1,032,103	570	1,032,673	28,263	1,060,936
のれんの償却額	—	126,993	31,156	158,150	463	158,613	—	158,613

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、少額短期保険業、ハウスクリーニング事業他が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,096,690千円には、セグメント間取引消去53,490千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,150,180千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント資産の調整額15,616,773千円の内容は、セグメント間取引消去△306,966千円、各報告セグメントに配分していない全社資産15,923,740千円であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社固定資産であります。

その他の項目の減価償却費の調整額33,073千円は全社資産に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額28,263千円は、全て全社有形固定資産及び無形固定資産であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

5 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、長期前払費用に係る金額が含まれております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	消去又は全社	合計
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計			
当期末残高	6,076	5,555	—	11,632	—	—	11,632

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	消去又は全社	合計
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計			
当期末残高	83,386	—	1,111	84,497	—	2,420	86,918

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	消去又は全社	合計
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計			
当期末残高	—	603,219	74,587	677,809	2,123	—	679,930

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	消去又は全社	合計
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計			
当期末残高	—	476,225	78,246	554,471	1,660	—	556,132

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,078.34円	1,127.88円
1株当たり当期純利益	136.44円	101.21円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	835,463	619,755
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	835,463	619,755
普通株式の期中平均株式数(株)	6,123,155	6,123,155

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当連結会計年度末 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	6,604,078	6,907,412
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	1,212	1,224
(うち非支配株主持分(千円))	(1,212)	(1,224)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	6,602,865	6,906,188
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	6,123,155	6,123,155

(重要な後発事象)

該当事項はありません。